

心つないで

No.54

発行

2013年9月23日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

第3陣・松本さん、天野さん、大倉さんの大船渡報告

◎ 第3陣は上記3人が9月16日出発し、20日までの5日間の行動をしました。主な任務は、次週のセーフティウォーキングの講習のご案内です。行く先々でいろいろなお話を伺いました。

◎ 初日17日は三陸町の杉下仮設へ。神戸市から来ましたと言うと皆さん暖かく迎えてくれましたが、震災当時を思い出して涙ぐむ方もおられました。午後は末崎町の平林仮設。ここでは月曜から金曜まで毎朝ラジオ体操を行っており、毎回10人ほど参加されます。またベンチでの談話が楽しみという仲良しさんたちも。【写真・右】



◎ 19日。ここ二日間は、朝晩は冷えるようになりました。午前中、大船渡北小学校に隣接する山馬越(やままごえ)仮設を訪問。これから訪れる寒さに備えて綿入れをされている方も。【写真・右】

◎ あるお宅では、ご主人を亡くされ、「生きている意味がない。死にたい。」と話され、涙ぐむ場面も。でも最後には「いろいろ聞いてくれてありがとう。来週参加します」と笑顔で話して下さいました。

「来週の講習会が楽しみ」

◎ 午後からは、鳥沢仮設へ。たまたま他の健康相談チームが来ており、終わったあと時間をいただき来週のご案内をしました。

みなさん、健康に興味がある方ばかりで、真剣に話を聞いていただき、質問も飛び交いました。来週の講習会を楽しみにしてくれています。【写真・右】



「生きてる意味がない…でも、話を聞いてくれてありがとう」

「脚は90才だけど、声は18才よ」

◎ 18日は猪川町の轆轤石(ろくろいし)仮設。訪問先で歌が大好きな女性と出会い、「脚は90才だけど、声は18才ですよ」と自慢の歌声を披露され、「翼をください」を一緒に歌いました。【写真・下】

◎ 午後は赤崎町の後ノ入(のちのいり)仮設へ。今日は移動の足湯が来たとのこと。



〈大船渡は、冬支度〉



前号の写真のキメポーズは、丹田(おへその下)に力を入れ、上方に体をあげる健康な姿勢を手でイメージしているのだそう